



2021年2月3日

各位

会社名 太平洋工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川信也
(コード番号 7250 東証・名証第一部)
問合せ先 経理部長 渡辺智
(TEL 0584-93-0117)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年10月28日に公表した2021年3月期の通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 通期連結業績予想の修正について (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	145,000	6,000	6,500	4,500	74.38
今回修正予想(B)	148,000	7,500	8,500	6,000	99.18
増減額(B-A)	3,000	1,500	2,000	1,500	—
増減率(%)	2.1%	25.0%	30.8%	33.3%	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	165,969	10,511	11,130	7,256	120.12

2. 修正の理由

当社グループは、日本および海外8カ国に生産・販売拠点があり、グローバルに新型コロナウイルス感染症の影響を受けております。同感染症の今後の広がり方や収束時期は不透明なうえ、経済に与える影響は拠点によって程度が異なり、先行きの予想が難しい状況にあります。

このような中、当第3四半期会計期間の連結業績は、グループを挙げた収益改善・固定費削減活動の成果および主要顧客の生産回復により、売上高・各利益ともに同期比で過去最高となりました。しかしながら、回復具合は地域・顧客によって異なります。

加えて、足元では緊急事態宣言が再発出される等、第4四半期会計期間の連結業績については不透明さが増しております。最新の各国の同感染症拡大状況や規制状況、顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、第4四半期は引き続き回復傾向にある、と想定いたしました。

これらの結果、通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、第4四半期連結会計期間の為替レート的前提は、1US\$=105円と置いております。

これらの想定には不確実性が含まれているため、今後の同感染症の拡大状況等によっては、実際の業績が予想から大きく乖離する可能性があります。

以上